

令和 4 年度 川崎市工業用水道事業会計決算概況

1 総括事項

本市の工業用水道は、わが国初の公営工業用水道事業として昭和 1 2 年に給水を開始して以来、重化学工業を中心とした本市の産業経済の基幹施設としてその発展に寄与するとともに、活力と魅力あふれる力強い都市づくりを支える産業の振興に向けて、工業用水の安定供給に取り組んでまいりました。

水需要については、産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用等の影響を受け減少傾向にありましたが、近年はほぼ横ばいで推移しています。

事業面では、「川崎市上下水道ビジョン」、「川崎市上下水道事業中期計画」に基づき、老朽化した管路の更新等に取り組んでまいりました。

一方、財政面では、燃料価格の高騰等により電気料金が増大したものの、事業運営の効率化等により当年度純利益を計上し、単年度資金についても資金残額が生じました。

今後も、工業用水道施設の整備等に伴う建設改良費が必要となりますので、これまでの累積資金の活用等で対応してまいります。

2 業務の状況

令和 4 年度末における契約会社・工場数は 57 社 77 工場、1 日当たりの契約水量は 51 万 5,220 m³、年間契約水量は 1 億 8,805 万 5,300 m³、年間使用水量は 1 億 4,002 万 1,576 m³です。

また、工業用水道料金収入は税抜きで 68 億 7,615 万 7,945 円です。

3 建設及び改良工事

令和 4 年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、9 億 7,015 万 5,580 円となっております。

また、8 億 1,915 万 4,768 円を令和 5 年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、浄水施設費については、将来の工業用水の安定供給に向けて、長沢浄水場第 1 沈でん池汚泥掻寄機及び排泥弁改良工事等を施行しました。令和 4 年度決算額は 2 億 9,003 万 7,330 円となっております。

その他の建設改良費については、稲田取水所取水口耐震補強及び制水門（下水門）更新工事等を施行しました。

4 経理の状況

収益的収支は、事業収益 77 億 6,140 万 2,211 円から事業費用 70 億 9,221 万 1,790 円を差し引いた収支差引 6 億 6,919 万 421 円となり、消費税及び地方消費税を除いた収支差引では、5 億 8,299 万 4,478 円の純利益となりました。

また、資本的収支は、収入総額 2 億 7,602 万 3,842 円から支出総額 16 億 990 万 3,850 円を差し引いた収支差引 13 億 3,388 万 8 円の不足となりましたが、これについては、損益勘定留保資金等で補填しました。

問合せ先
川崎市上下水道局総務部財務課 宮本
電話：044-200-3104

令和4年度川崎市工業用水道事業会計決算総括表

[収益的収支]

(単位 円)

会計名		収入 (税込)	支出 (税込)	差引 (税込)	税抜処理後純損益	前年度繰越利益 剰余金	その他未処分利益 剰余金変動額	当年度未処分 利益剰余金
工業用水道 事業会計	予算現額	7,884,457,000	7,675,911,000	208,546,000	86,410,000	1,140,333,000	639,749,000	1,866,492,000
	決算額	7,761,402,211	7,092,211,790	669,190,421	582,994,478	0	639,748,270	1,222,742,748
	執行率	98.4%	92.4%	—	—	—	—	—

[資本的収支]

(単位 円)

会計名		収入 (税込)	支出 (税込)	差引 (税込)	補填財源等				再差引
					繰越工事資金	損益勘定留保資金	前年度財源充当額	その他	
工業用水道 事業会計	予算現額	911,651,000	2,732,607,250	△ 1,820,956,250	0	1,044,802,250	0	776,154,000	0
	決算額	276,023,842	1,609,903,850	△ 1,333,880,008	0	611,241,360	0	722,638,648	0
	執行率	30.3%	58.9%	—	—	—	—	—	—

令和4年度 工業用水道事業会計決算(見込み)のポイント (税込み)

		令和4年度決算	令和3年度決算	増△減額	増△減率	備 考
1	収益的収入	77億6,100万円	77億7,300万円	△1,200万円	△0.2%	
主な収入	水道料金収入	75億6,300万円	75億9,800万円	△3,500万円	△0.5%	使用水量の減
	雑収益	4,200万円	2,700万円	1,500万円	55.6%	平間配水所調圧塔撤去工事等に係る費用負担金の増
2	収益的支出	70億9,200万円	70億3,800万円	5,400万円	0.8%	
主な支出	人件費	6億3,700万円	6億2,100万円	1,600万円	2.6%	
	物件費	64億5,500万円	64億1,700万円	3,800万円	0.6%	動力費の増
3	純損益(税抜き)	5億8,200万円 (純利益)	6億8,600万円 (純利益)	△1億400万円	△15.2%	
4	資本的収入	2億7,500万円	1億5,000万円	1億2,500万円	83.3%	
主な収入	企業債	1億2,600万円	0円	1億2,600万円	皆増	浄水施設等充当債の増
	補助金	1億4,900万円	1億5,000万円	△100万円	△0.7%	
5	資本的支出	16億900万円	12億2,000万円	3億8,900万円	31.9%	
主な支出	建設改良費	9億7,000万円	5億4,400万円	4億2,600万円	78.3%	原水施設費負担金の増
	企業債償還金	6億3,900万円	6億7,500万円	△3,600万円	△5.3%	
6	資金不足比率	— (資金不足となっていない)	— (資金不足となっていない)			財政健全化法における経営健全化基準 20%

※ 金額については百万円未満を切り捨て。

※ 増減率については小数点第2位を四捨五入。